



# 2024年3月期 決算説明会資料

2024年 5月15日

喜びを創り喜びを提供する



<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



# 目次

- 2024年3月期 決算概要 P 1～19
- 2025年3月期 通期業績予想 P 20～24
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 25～43
- ESG関連情報 P 44～46
- 株式の状況・株主還元 P 47～51
- 参考情報 P 52～61
- 熱狂的ファンづくりの取り組み事例 P 62～72



# 2024年3月期 決算概要

## 2024年3月期 業績ハイライト

2024年3月期 通期業績

経常利益 **15,868**百万円（前期比 **54.1%増**）

経常利益率 **24.8%**（同 **4.3ポイント増**）

---

当期純利益は、前期比 **54.3%増**の**10,831**百万円  
初めて100億円を突破！

●新型コロナの反動影響も薄らぎ、年度後半は全国旅行支援の反動減も見られた中、インバウンド対策の強化や新ブランド出店、商品価格の改定などの重点施策の遂行により、売上面及び利益面ともに過去最高値を更新。

●インバウンド売上高（国際線ターミナル免税売上高）は、7,126百万円となり、新型コロナ発生前水準を上回る。

# 業績サマリー

すべての指標で前期を上回り、過去最高値を更新

(百万円、%)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期
売上高 (対前期比)	45,181 (+10.8%)	23,205 (△48.6%)	32,192 (+38.7%)	50,155 (+55.8%)	64,036 (+27.7%)
営業利益(△損失) (対前期比)	6,455 (+8.0%)	△2,890 (—)	1,403 (—)	9,952 (+609.4%)	15,781 (+58.6%)
経常利益(△損失) (対前期比)	6,475 (+7.7%)	△322 (—)	2,921 (—)	10,296 (+252.4%)	15,868 (+54.1%)
当期純利益(△損失)※ (対前期比)	4,100 (+3.2%)	△570 (—)	1,916 (—)	7,018 (+266.4%)	10,831 (+54.3%)
売上高経常利益率(%)	14.3	△1.4	9.1	20.5	24.8
EPS (円)	26.35	△3.66	12.31	45.10	69.61 (注1)
BPS (円)	136.02	124.31	130.83	170.43	226.38 (注1)
ROE (%)	20.8	△2.8	9.7	29.9	35.1

(注1) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。

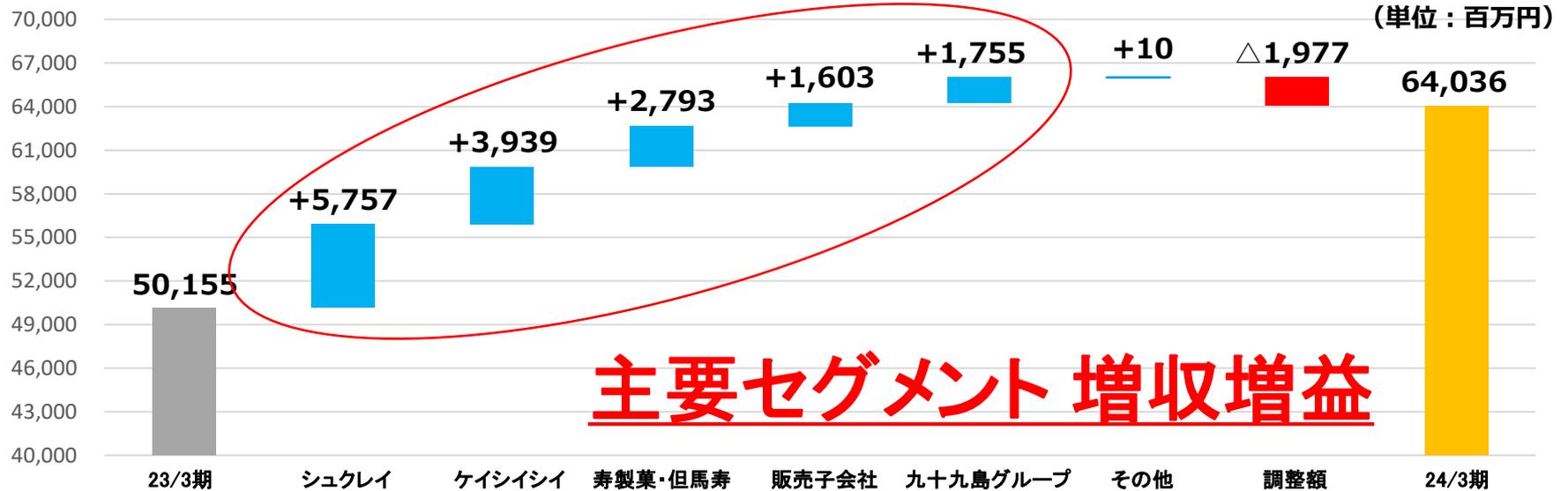
EPS及びBPS数値につきましては、2020年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算出しています。

※当期純利益(△損失)＝親会社株主に帰属する当期純利益(△損失) ※他の資料箇所も同様

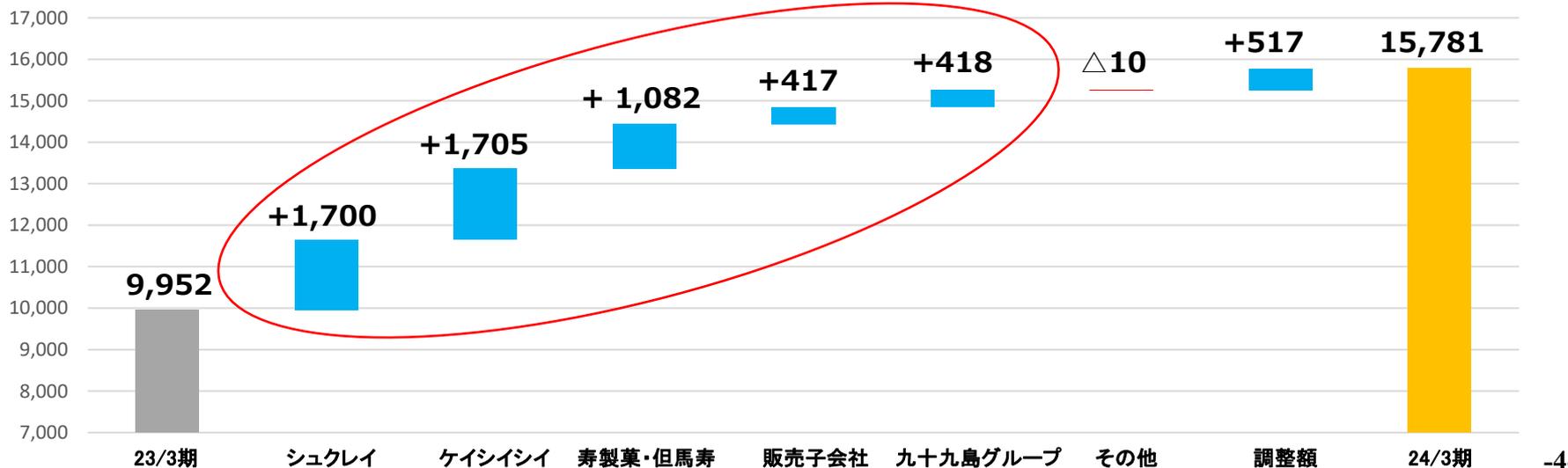
※「収益認識に関する会計基準」等を22/3期から適用しており、22/3期以降に係る数値は、当会計基準適用後の数値となっております。

# 売上高／営業利益増減分析(前期比)

## (売上高)



## (営業利益)



# トピックス①(インバウンド売上)

2022年10月から、入国制限が緩和され、主要国際線ターミナルの売店が段階的に再開。当第4四半期のインバウンド売上は、初めて20億円を突破し、過去最高値を更新した。

【インバウンド売上高(国際線ターミナル免税売上高)】

(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
2024年3月期	1,520	1,606	1,967	2,033	7,126
2023年3月期	86	167	640	1,085	1,978
2020年3月期	1,502	1,381	1,645	846	5,375

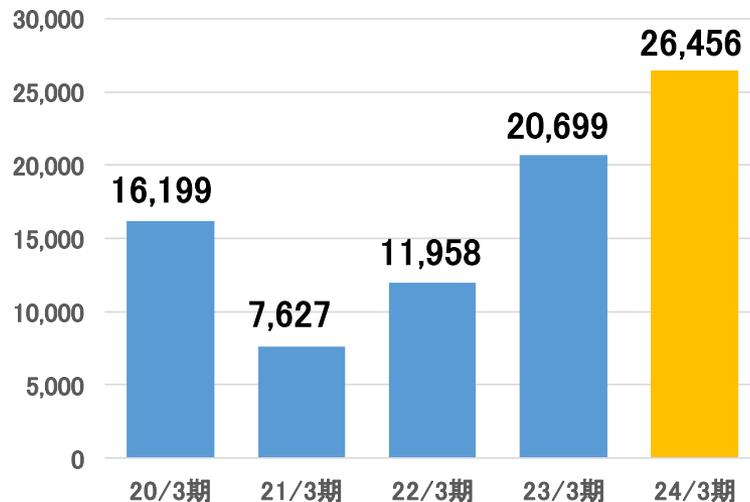


成田空港Fa-So-La TAX FREE AKIHABARA内に展開中の「小樽洋菓子舗LeTAO」「ザ・メープルマニア」

## トピックス② (シュクレイがグループの成長を牽引)

3つの新ブランドをプロデュース、東京駅や百貨店の好立地への新規出店  
大型催事展開等を積極的に推進

シュクレイ売上高



2023年11月1日OPEN「VANI(バニ)阪神梅田本店」

(百万円、%)	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	対前期	
						増減額	増減比
売上高	16,199	7,627	11,958	20,699	26,456	5,757	27.8
国内卸売	4,666	1,196	1,846	4,310	6,855	2,545	59.1
国内小売	10,423	5,294	8,033	13,568	17,263	3,695	27.2
通信販売	356	647	1,265	1,712	1,612	△ 101	△ 5.9
海外卸売	437	319	436	633	331	△ 302	△ 47.6
セグメント間内部売上	318	169	378	476	395	△ 80	△ 16.9

# トピックス③(新ブランドの出店)

2024年3月期、新ブランドによる新規出店は4店舗



2023年6月OPEN「THE DROS(ザドロス)グランスタ東京店



2023年11月OPEN「VANI(パニ)阪神梅田本店」



2023年10月OPEN 新ブランド「I'm LILY(アイムリリー)博多店」



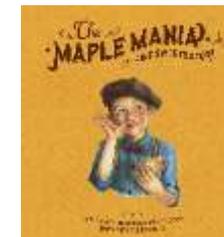
2023年6月OPEN「Mr.Maple (ミスターメープル)グランスタ東京店」 -7-

# ご参考(海外売上)

海外売上 1,538百万円 前期比21.4%減収

オーストラリアは、メルボルン店に続く2号店をシドニーにOPEN

(中国及び韓国は、2024年3月にFC契約終了)



## 【海外売上高】

(百万円、%)	23年3月期	24年3月期	増減額	増減率
台湾(注1)	657	651	△ 6	△ 0.9
韓国(注2)	213	67	△ 146	△ 68.5
シンガポール	453	225	△ 229	△ 50.4
中国(注2)	349	125	△ 224	△ 64.1
オーストラリア	128	263	135	105.9
その他	157	207	50	31.8
合計	1,957	1,538	△ 419	△ 21.4

(注1)台湾は連結子会社。他の地域はFC展開。

台湾は現地売上、FCは国内出荷売上＋ロイヤルティ

(注2)中国及び韓国は2024年3月にFC契約終了

小樽洋菓子舗ルタオ オーストラリア2号店目となるシドニー店 が2023年12月15日 グランドオープン

## 2024年3月期業績(対前期)

**対前期比 売上高27.7%増、経常利益54.1%増**  
**価格改定及び生産・販売の効率化などにより収益性が向上**

(百万円、%)	23年3月期		24年3月期		対前年同期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	50,155	—	64,036	—	13,880	27.7
売上総利益	30,107	60.0	39,805	62.2	9,698	32.2
販売管理費	20,155	40.2	24,024	37.5	3,869	19.2
営業利益	9,952	19.8	15,781	24.6	5,829	58.6
経常利益	10,296	20.5	15,868	24.8	5,572	54.1
当期純利益	7,018	14.0	10,831	16.9	3,813	54.3
EPS(円) (注1)	45.10		69.61		24.51	—
ROE(%)	29.9		35.1		5.20	—

(注1) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。  
 EPS数値につきましては、2023年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

# 売上高(販売チャネル別)

## 人流回復を追い風に、インバウンド需要の復調も加わり 国内卸売が大幅増収

(百万円、%)	23年3月期		24年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	50,155	—	64,036	—	13,880	27.7
国内卸売	17,275	34.4	26,416	41.3	9,141	52.9
国内小売	25,118	50.1	30,182	47.1	5,064	20.2
通信販売	5,798	11.6	5,892	9.2	94	1.6
その他	7	0.0	9	0.0	2	22.8
国内計	48,198	96.1	62,498	97.6	14,300	29.7
海外卸売	1,300	2.6	887	1.4	△ 413	△ 31.8
海外小売	657	1.3	651	1.0	△ 6	△ 0.9
海外計	1,957	3.9	1,538	2.4	△ 419	△ 21.4

(注)国内卸売は、主に小売店向け卸(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど/ 国内小売は、主に直営店舗、催事など  
海外卸売は、海外FCに対する国内出荷売上+ロイヤルティ/ 海外小売は、台湾子会社の売上/その他は損害保険代理業

# セグメント別の業績(対前期)

## シュクレイを筆頭に、主要セグメント軒並み増収増益

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	23/3期	24/3期	増減額	増減率	23/3期	24/3期	増減額
シュクレイ	20,699	26,456	5,757	27.8	4,144	5,844	1,700
ケイシイシイ	14,114	18,053	3,939	27.9	2,113	3,819	1,705
寿製菓・但馬寿	10,042	12,835	2,793	27.8	1,694	2,776	1,082
販売子会社	5,354	6,957	1,603	29.9	472	889	417
九十九島グループ	4,628	6,383	1,755	37.9	366	783	418
その他 (注)	734	744	10	1.3	97	87	△ 10
セグメント計	55,570	71,427	15,857	28.5	8,887	14,199	5,312
調整額	△ 5,415	△ 7,391	△ 1,977	36.5	1,065	1,582	517
合計	50,155	64,036	13,880	27.7	9,952	15,781	5,829

(注)「その他」には、損害保険代理事業、健康食品事業、海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

# セグメント別業績の補足説明

<p>シュクレイ</p>	<p>売場ディスプレイの改良、限定商品の発売や超試食販売による販売力の強化、大型催事出店の推進などにより、更なるブランド価値の向上に注力いたしました。また、インバウンド対策では、早期に人員体制を整え、主要国際線ターミナルでの展開強化などに取り組みました。出退店では、2023年5月に「ザ・メープルマニア」京王新宿店を、同年6月にはJR東京駅「グランスタ東京」に新ブランド「ザ・ドロス」を、同年11月には阪神百貨店梅田本店に新ブランド「バニ」を出店するなど、計5店の出店及び2店の退店を行いました。</p>
<p>ケイシイシイ</p>	<p>25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」の更なるブランド価値の向上を図るため、「ルタオ本店」及び「ルタオパトス」の売場改装を行い、商品面では、「ドゥーブルフロマージュ」、「小樽色内通りフロマージュ」などの主力商品を軸に、「まああるガトーノワール」や25周年記念菓「フロマネージュ」などの新商品を加えて、各販売チャネルでの販売強化に注力いたしました。また、インバウンド対策では、主要国際線ターミナルを中心に、販売体制を早期に整え、販売力の向上に努めました。道外店舗では、「ナウオンチーズ」などの首都圏ブランドの育成に注力いたしました。</p>
<p>寿製菓・但馬寿</p>	<p>代理店及びグループ会社との連携強化を図り、売場改善提案などによる主力商品対策や新商品開発に注力いたしました。また、山陰地区では、12年に一度の「うさぎ年」に発売55周年を迎えた山陰銘菓「因幡の白うさぎ」の販売強化や築城30周年を迎えた「お菓子の壽城」ではイベント開催などによる集客力の強化に努めました。</p>
<p>販売子会社</p>	<p>交通拠点チャネルを重点に、主力商品及び新商品による売場面積の拡大に注力いたしました。エリア別では、関西地区において、主力商品「フレンチトーストラングドシャ」のリニューアルや新商品「大阪いちごチーズケーキタルト」の発売、また、「京都ヴェネト」ブランドによる展開強化などに取り組みました。福岡地区では「博多まっかな苺」ブランドの展開強化などに取り組みました。東海地区では、主力商品「小倉トーストラングドシャ」の拡販などに取り組みました。</p>
<p>九十九島グループ</p>	<p>製造小売型経営への変革を図るため、当社グループのシナジーを最大限活用し、製品の改廃、組織改革、製造ラインの見直しなどの経営改革を推進いたしました。また、10周年を迎えたフレンチトースト専門店「アイボリッシュ」では、グランスタ東京のリニューアルオープンに「フレンチトーストブティング」などの東京駅限定商品を発売するなど、更なるブランド認知度の向上に取り組みました。新規出店では、2023年10月にJR博多駅構内に新ブランド「アイム リリー」を出店、また、退店では2023年10月にアイボリッシュ福岡本店を閉店いたしました。</p>

# 売上原価・売上総利益

原材料価格の高騰が続く中、生産効率化及び価格改定効果などにより売上総利益率は、前期比2.2ポイント増加

(百万円、%)	23年3月期		24年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	50,155	—	64,036	—	13,880	27.7
材料費	10,754	21.4	14,511	22.7	3,758	34.9
労務費	4,454	8.9	5,700	8.9	1,246	28.0
製造経費	2,380	4.7	2,779	4.3	399	16.8
製造原価計	17,587	35.1	22,990	35.9	5,403	30.7
その他	2,461	4.9	1,241	1.9	△ 1,220	△ 49.6
売上原価合計	20,049	40.0	24,231	37.8	4,183	20.9
売上総利益	30,107	60.0	39,805	62.2	9,698	32.2

# 販売管理費・営業利益

売上成長及び販売の効率化などにより  
販売管理費率は、前期比2.7ポイント減少

(百万円、%)	23年3月期		24年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上総利益	30,107	60.0	39,805	62.2	9,698	32.2
人件費	7,432	14.8	8,742	13.7	1,310	17.6
販売促進費	3,012	6.0	3,798	5.9	785	26.1
運賃	1,580	3.1	2,068	3.2	489	30.9
広告宣伝費	395	0.8	393	0.6	△ 2	△ 0.6
地代家賃	1,314	2.6	1,452	2.3	138	10.5
減価償却費	407	0.8	433	0.7	26	6.4
旅費交通費	373	0.7	483	0.8	111	29.8
支払手数料	3,969	7.9	4,916	7.7	946	23.8
その他	1,672	3.3	1,738	2.7	66	4.0
販売管理費	20,155	40.2	24,024	37.5	3,869	19.2
営業利益	9,952	19.8	15,781	24.6	5,829	58.6

# 公表数字に対する達成率

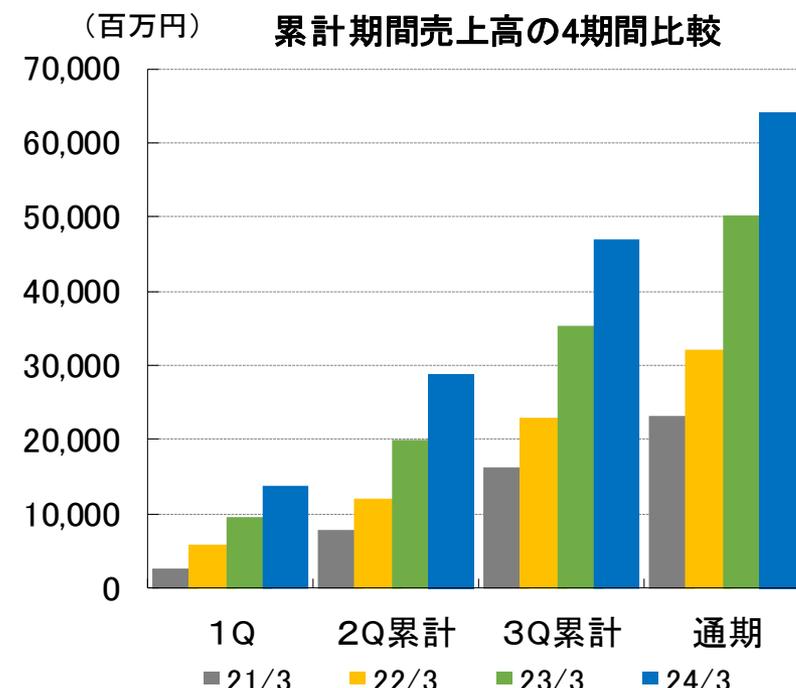
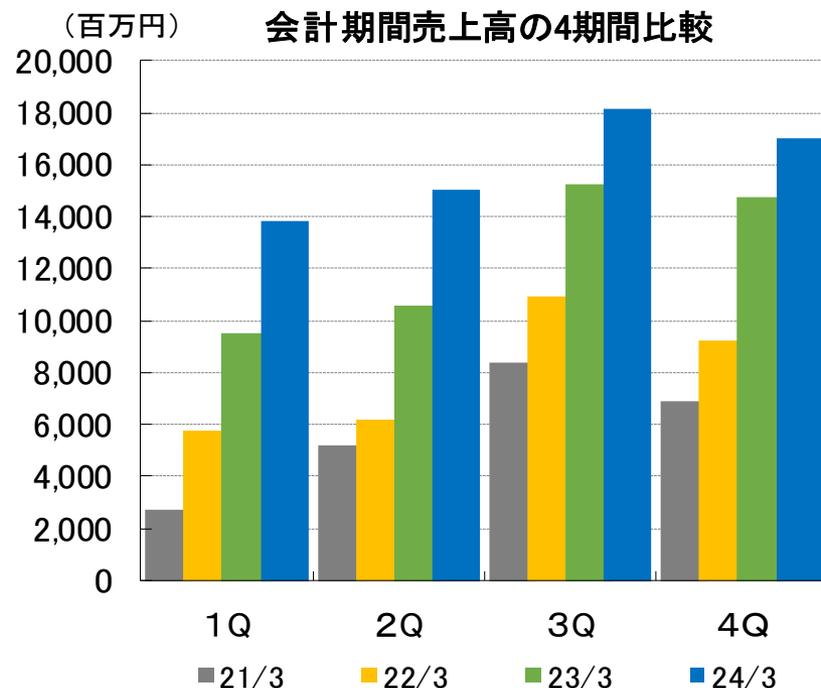
インバウンド需要の復調や、商品価格の改定効果などにより  
売上面及び利益面ともに前回予想を上回る

(百万円、%)	予想数値※		24年3月期		対予想数値	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	60,461	—	64,036	—	3,575	105.9
売上総利益	37,112	61.4	39,805	62.2	2,693	107.3
販売管理費	22,920	37.9	24,024	37.5	1,104	104.8
営業利益	14,192	23.5	15,781	24.6	1,589	111.2
経常利益	14,263	23.6	15,868	24.8	1,605	111.3
当期純利益	9,560	15.8	10,831	16.9	1,271	113.3

※ 予想数値は2023年11月1日公表数値

# 四半期業績の推移(売上高)

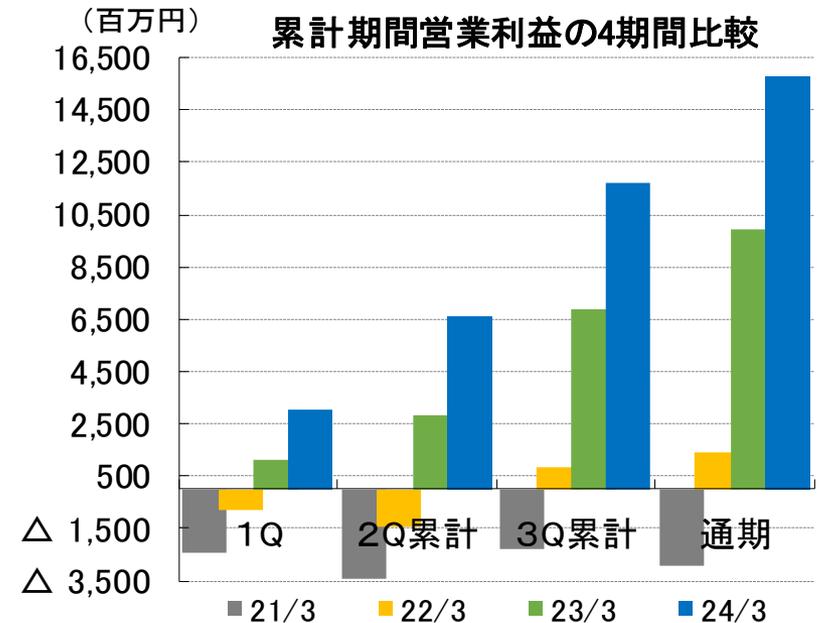
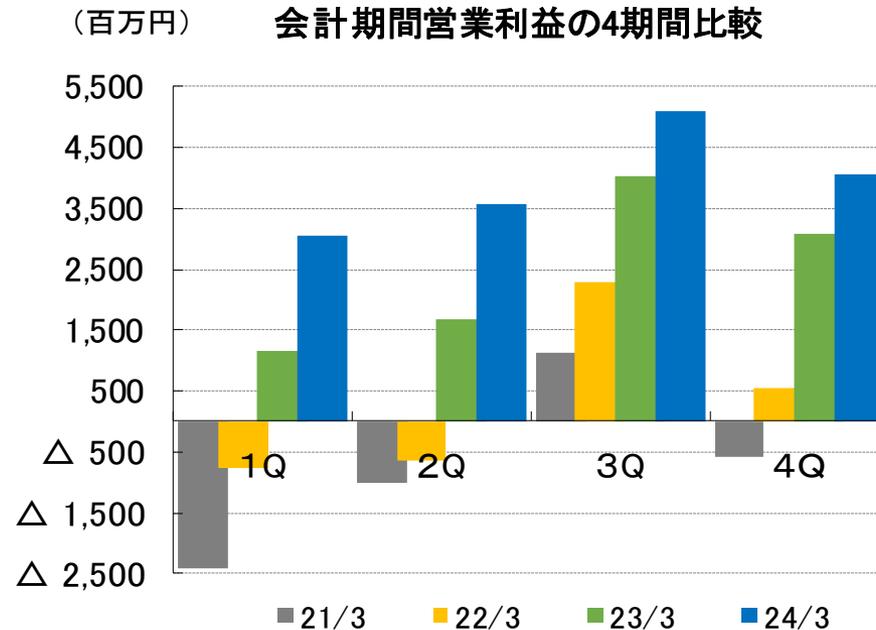
## (4Q会計) 対前年同期比15.0%増



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
21/3	2,716	5,189	8,402	6,898	2,716	7,905	16,306	23,205
22/3	5,758	6,200	10,963	9,270	5,758	11,959	22,921	32,192
23/3	9,515	10,585	15,270	14,785	9,515	20,100	35,370	50,155
24/3	13,853	15,038	18,145	17,000	13,853	28,891	47,036	64,036
対前年	145.6%	142.1%	118.8%	115.0%	145.6%	143.7%	133.0%	127.7%

# 四半期業績の推移(営業利益)

## (4Q会計) 対前年同期比30.7%増



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
21/3	△ 2,409	△ 1,012	1,114	△ 583	△ 2,409	△ 3,421	△ 2,307	△ 2,890
22/3	△ 759	△ 659	2,279	542	△ 759	△ 1,418	860	1,403
23/3	1,150	1,680	4,026	3,095	1,150	2,830	6,856	9,952
24/3	3,059	3,564	5,112	4,046	3,059	6,622	11,734	15,781
対前年	265.9%	212.1%	127.0%	130.7%	265.9%	234.0%	171.1%	158.6%

# 貸借対照表

## 流動資産の増加は、主に現預金及び売掛債権の増加によるもの

(百万円、%)	22年3月期		23年3月期		24年3月期		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	15,804	57.5	25,741	69.7	34,408	74.0	8,667	33.7
固定資産	11,666	42.5	11,212	30.3	12,102	26.0	890	7.9
資産合計	27,470	100.0	36,953	100.0	46,510	100.0	9,557	25.9
流動負債	4,620	16.8	8,095	21.9	8,824	19.0	729	9.0
固定負債	2,493	9.1	2,340	6.3	2,463	5.3	123	5.2
負債合計	7,114	25.9	10,436	28.2	11,287	24.3	851	8.2
純資産	20,357	74.1	26,518	71.8	35,223	75.7	8,706	32.8
負債純資産合計	27,470	100.0	36,953	100.0	46,510	100.0	9,557	25.9
BPS(円)(注)	130.83		170.43		226.38		55.95	32.8
設備投資額	403		573		1,927		1,354	236.2
減価償却費	1,220		1,137		1,164		27	2.4

(注) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。  
BPS数値につきましては、2022年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して算出しています。

# キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ期末残高は、対前期比6,527百万円増加の22,690百万円

(百万円、%)	22年3月期	23年3月期	24年3月期	対前期	
	通期	通期	通期	増減額	増減率
営業活動CF	4,293	9,086	10,845	1,760	19.4
投資活動CF	△ 527	△ 1,616	△ 2,004	△ 389	24.1
フリーCF	3,767	7,470	8,841	1,371	18.4
財務活動CF	△ 1,176	△ 1,223	△ 2,323	△ 1,099	89.9
cashに係る換算差額	13	3	9	6	200.5
cash増減	2,603	6,250	6,527	278	4.4
cash期首	7,309	9,913	16,162	6,250	63.0
cash期末	9,913	16,162	22,690	6,527	40.4
有利子負債	726	440	300	△ 140	△ 31.8



# 2025年3月期 通期業績予想

# 2025年3月期 通期業績予想の補足説明

## ● 事業環境

今後の見通しは、景気は緩やかな回復基調に向かう事が期待される一方で、物価上昇に伴う消費マインドの停滞、働き手不足の深刻化や原材料価格の更なる高騰など、依然として先行き不透明な状態が続くものと見込まれる。チョコレートの高騰など、原材料価格は引き続き上昇傾向。

## ● 売上高等

インバウンド売上高は、85億円を見込む。  
経営改革に取り組んでいる九十九島グループは、老朽化した工場を閉鎖し、生産ラインの集約化を予定（一部シュクレイへの生産移管含む）。これに伴い、グループ向け内部売上高が減少する見込みのため、減収・減益を予想。

## ● 出退店等

出店は、4月に福岡空港国内線ロビーに1店舗、新宿駅改札内イトルミネに3店舗、そごう横浜店に2店舗の6店舗出店。退店ではフランスの地方店4店舗の退店を予定。

## ● 設備投資

設備投資計画は、35億円（内、新工場設置に12億円を予定）。新工場は生産能力の増大を目的にシュクレイが食品工場の中古物件を取得（静岡県静岡市）製造ラインは、一部移管を含め、3ラインを設置し、8月より順次稼働。引き続きグループ全体で更なる生産体制の最適化、能力アップを図り、生産性の向上に取り組む。

# 2025年3月期 通期業績予想(対前期)

**売上高前期比9.3%増、営業利益同11.1%増**

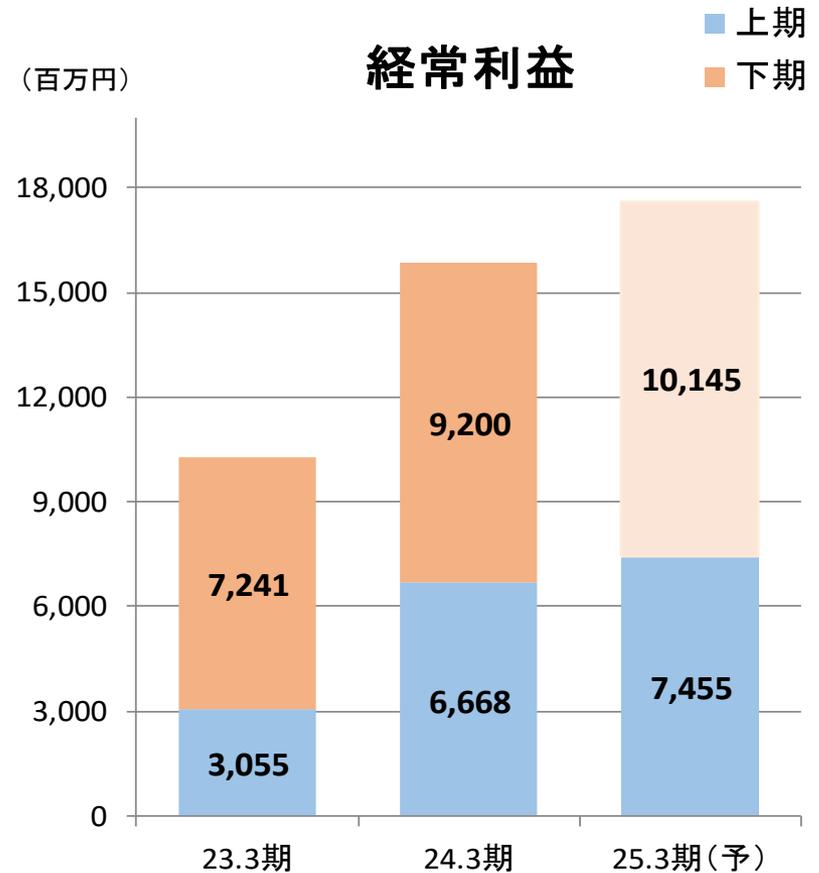
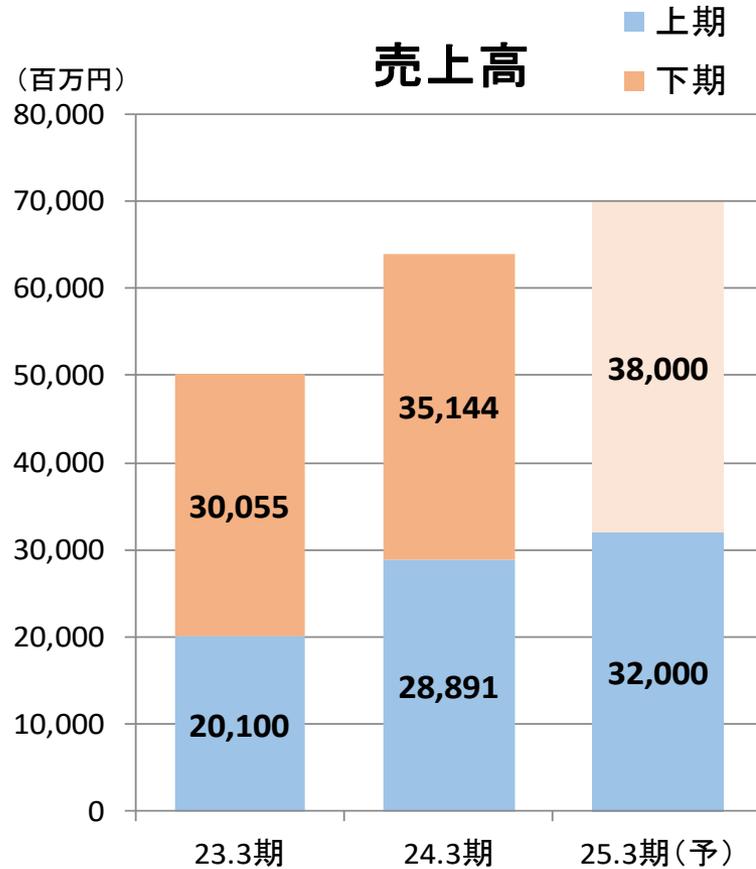
(百万円、%)	24年3月期		25年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	64,036	-	70,000	-	5,964	9.3
売上総利益	39,805	62.2	43,700	62.4	3,895	9.8
販売管理費	24,024	37.5	26,170	37.4	2,146	8.9
営業利益	15,781	24.6	17,530	25.0	1,749	11.1
経常利益	15,868	24.8	17,600	25.1	1,732	10.9
当期純利益	10,831	16.9	11,800	16.9	969	8.9
EPS(円)	69.61		75.84		6.2	-
1株当たり配当金(円)	28.00		28.00		0.0	-
設備投資	1,927		3,500		1,573	81.7
減価償却費	1,164		1,400		236	20.2

# 2025年3月期 通期業績予想(セグメント別)

シュクレイが引き続きグループ業績を牽引！

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	24/3期	25/3期予	増減額	増減率	24/3期	25/3期予	増減額
シュクレイ	26,456	29,200	2,744	10.4	5,844	7,000	1,156
ケイシイシイ	18,053	19,400	1,347	7.5	3,819	4,350	531
寿製菓・但馬寿	12,835	13,770	935	7.3	2,776	3,012	236
販売子会社	6,957	7,400	443	6.4	889	1,020	131
九十九島グループ	6,383	6,000	△ 383	△ 6.0	783	500	△ 283
その他	744	750	6	0.9	87	80	△ 7
セグメント計	71,427	76,520	5,093	7.1	14,199	15,962	1,763
調整額	△ 7,391	△ 6,520	871	△ 11.8	1,582	1,568	△ 14
合計	64,036	70,000	5,964	9.3	15,781	17,530	1,749

# 2025年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)



	売上高						経常利益					
	23/3期	構成比	24/3期	構成比	25/3期(予)	構成比	23/3期	構成比	24/3期	構成比	25/3期(予)	構成比
上期	20,100	40.1%	28,891	45.1%	32,000	45.7%	3,055	29.7%	6,668	42.0%	7,455	42.4%
下期	30,055	59.9%	35,144	54.9%	38,000	54.3%	7,241	70.3%	9,200	58.0%	10,145	57.6%
通期	50,155	100.0%	64,036	100.0%	70,000	100.0%	10,296	100.0%	15,868	100.0%	17,600	100.0%



# 今後の経営方針とセグメント別業績の概況

# 経営理念・基本ポリシー

## 経営理念

# 喜びを創り喜びを提供する

当社グループの経営理念は、創業者であります故河越庄市をはじめ、諸先輩方が幾多の試練を乗り越えてこられた中、生まれました。利潤の追求のみが企業の目的ではなく、会社が未来永劫発展し続けるためには、常に「人様に喜んでいただく」ことを最優先に考え、お客様に喜んでいただける商品を創り、お客様に喜ばれるサービスを提供し続け、地域社会への貢献、共存・共栄こそが、会社の存在意義であり、当社グループに与えられた使命であります。

## 基本ポリシー

# 今日一人、熱狂的なファンを創る

当社グループの全従業員は、経営理念の具現化に向け、ひとつのお菓子、ひとりのお客様への接客で、一生お付き合いができる熱狂的なファンを今日一人創ることに徹する「熱狂的ファン創り」を基本ポリシーとしております。

## 経営理念をベースとした「**全員参画による超現場主義経営**」の実践

当社グループは、経営理念を拠り所に、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画による超現場主義経営**」の実践により、活力ある魅力あふれる企業集団を創り、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

### 《経営理念手帳「こづち」について》

当社グループは、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、全従業員の経営理念浸透と企業倫理の徹底に努めております。経営理念手帳「こづち」は、各職場単位で行う朝礼や研修、勉強会などで活用し、また、経営理念の実践の成果を全従業員が共有し、さらなる大きな成果を生み出していくことを目的に「こづち発表全国大会」を年1回開催しております。



2024年1月「こづち発表全国大会」を開催

## ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

# 「お菓子の総合プロデューサー」

## General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「地域性(Local)」と「専門店性(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアムギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

# 今後の経営方針

## 2024年経営スローガン

# 超絶マツハ経営！

当社グループは、美味しさをより一層追求したプレミアムギフトスイーツに特化し、すべての基準で早さと速さにこだわり事業施策を遂行する。

## 重点施策

### 1.Value Up Everyday

- ①美味しさを一番に、商品力のValue Up
- ②独自の販売手法に磨きをかけて、販売力のValue Up
- ③ブランドの世界観を最大限に伝える売場力のValue Up
- ④新ブランド、新売場、新商品そして人財力のValue Up

### 2.「少数精鋭主義」による高賃金低人件費比率の実現

少数精鋭による人員配置の最適化により、部門採算の更なる高利益化を目指す！

# 今後の経営方針

## 中長期の目標

### 長期目標

# 売上高経常利益率 **30%**

「全員参画による超現場主義」経営を推進し、プレミアムギフトスイーツの更なる「高い価値の創造」に注力していく

### 中期目標

# ① シュクレイ売上高 **350**億円

(百万円)	20年3月期(実績)	21年3月期(実績)	22年3月期(実績)	23年3月期(実績)	24年3月期(実績)	26年3月期(目標)
売上高	16,199	7,627	11,958	20,699	26,456	35,000

# ② インバウンド売上高 **100**億円

(百万円)	20年3月期(実績)	21年3月期(実績)	22年3月期(実績)	23年3月期(実績)	24年3月期(実績)	26年3月期(目標)
売上高	5,375	98	125	1,978	7,126	10,000

※インバウンド売上高は、国際線ターミナル免税売上高となります。

## セグメント別概況

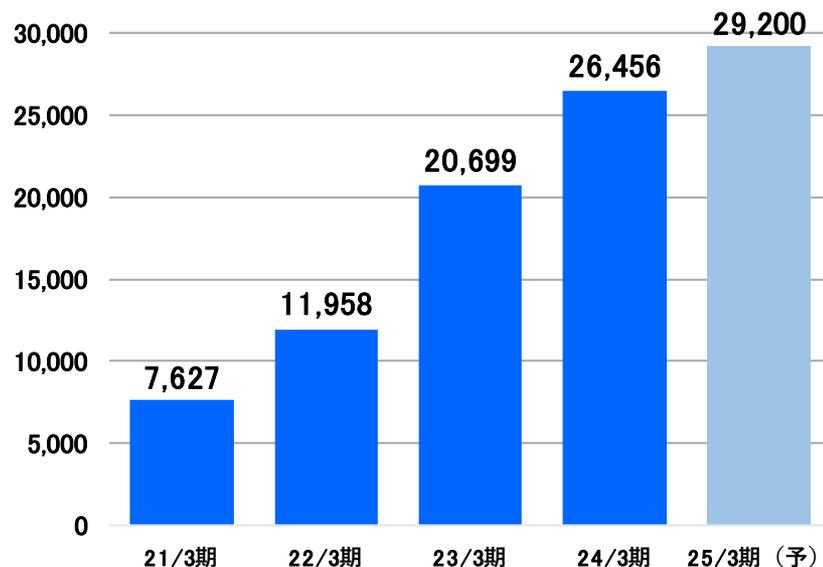


- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- くじゅうくしま 九十九島グループ
- その他

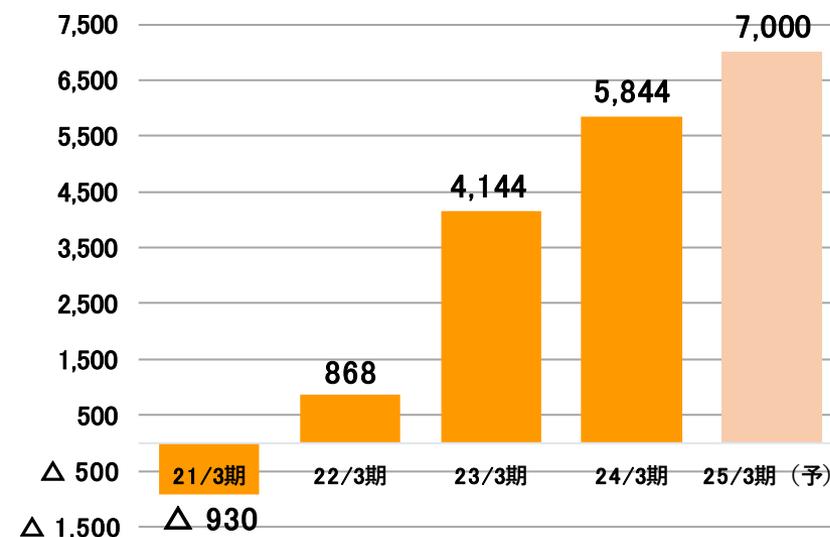
# 《シュクレイ》

25/3期予想:売上高 **29,200**百万円(前期比**+10.4%**)営業利益 **7,000**百万円(同**+19.8%**)

売上高



営業利益



(百万円,%)	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	対前期		25/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	7,627	11,958	20,699	26,456	5,757	27.8	29,200	2,744	10.4
売上総利益	4,198	7,271	13,160	17,038	3,878	29.5	19,150	2,112	12.4
粗利率	55.0	60.8	63.6	64.4	0.8	-	65.6	1.2	-
販売管理費	5,128	6,402	9,016	11,194	2,178	24.2	12,150	956	8.5
営業利益	△ 930	868	4,144	5,844	1,700	41.0	7,000	1,156	19.8

# 《シュクレイ》

現場力の強化により、更なるブランド価値の向上を図り、  
2026年3月期 売上高350億円突破に向け、成長を持続



東京ミルクチーズ工場



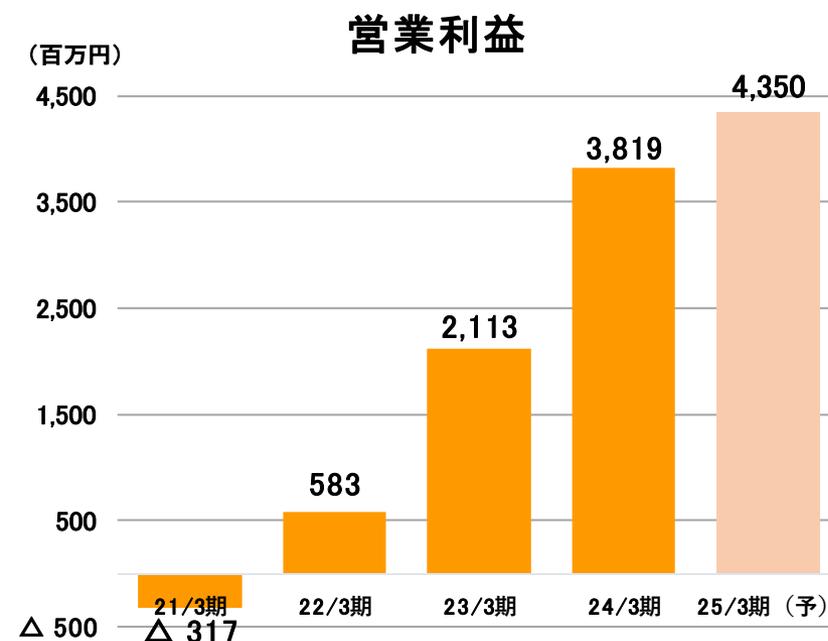
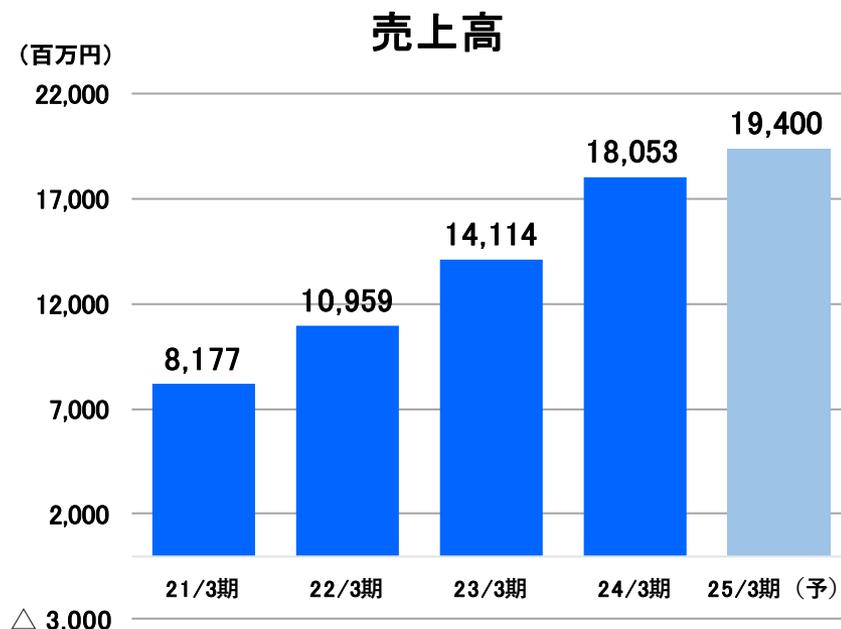
COWCOW Kitchen ミルクパイ ストロベリー



東京ミルクチーズ工場 ミルクチーズケーキ 苺

# 《ケイシイシイ》

25/3期予想:売上高 **19,400**百万円(前期比**+7.5%**)営業利益 **4,350**百万円(同**+13.9%**)



(百万円,%)	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	対前期		25/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,177	10,959	14,114	18,053	3,939	27.9	19,400	1,347	7.5
売上総利益	4,806	5,908	8,149	10,939	2,790	34.2	12,120	1,181	10.8
粗利率	58.8	53.9	57.7	60.6	2.9	-	62.5	1.9	-
販売管理費	5,123	5,325	6,036	7,120	1,085	18.0	7,770	650	9.1
営業利益	△ 317	583	2,113	3,819	1,705	80.7	4,350	531	13.9

# 《ケイシイシイ》

小樽洋菓子舗LeTAOの更なるブランド価値の向上と、  
「PISTA&TOKYO」、「Now on Cheese ♪」、「岡田謹製あんバター屋」などの  
首都圏ブランドの育成に注力



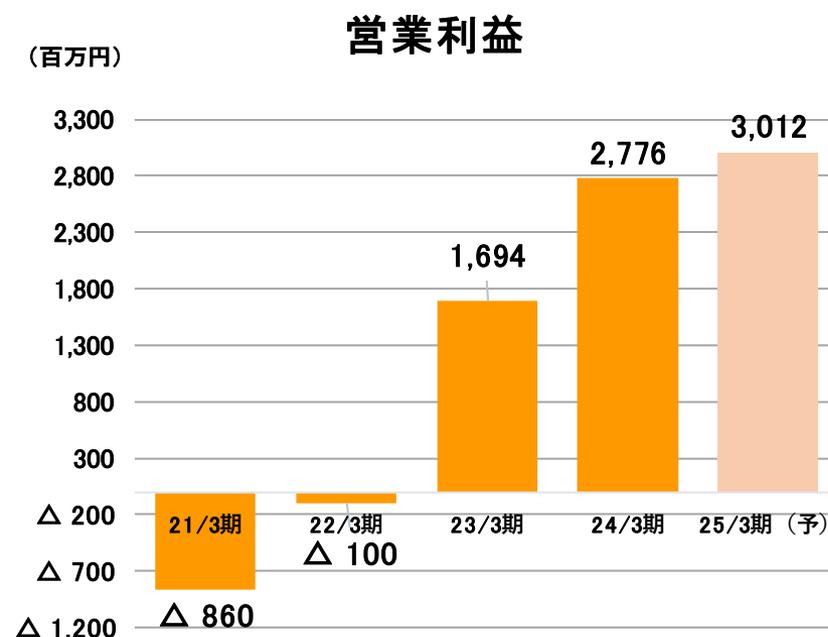
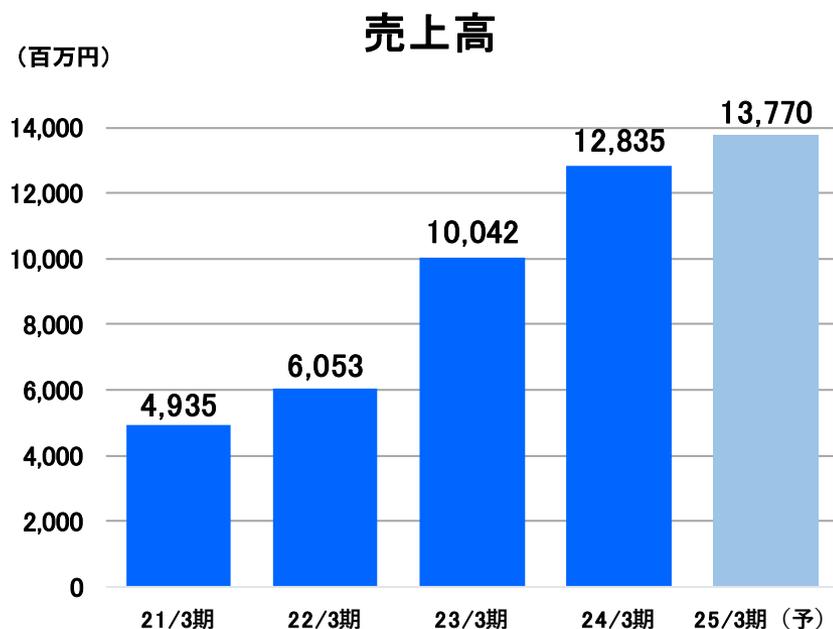
Now on Cheese ♪ チーズケーキサンド・いちご



小樽洋菓子舗LeTAO フルールミニヨン

# 《寿製菓・但馬寿》

25/3期予想:売上高 **13,770**百万円(前期比**+7.3%**)営業利益 **3,012**百万円(前期比**+8.5%**)



(百万円,%)	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	対前期		25/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,935	6,053	10,042	12,835	2,793	27.8	13,770	935	7.3
売上総利益	969	1,774	3,953	5,355	1,403	35.5	5,954	599	11.2
粗利率	19.6	29.3	39.4	41.7	2.4	-	43.2	1.5	-
販売管理費	1,829	1,874	2,258	2,579	320	14.2	2,942	363	14.1
営業利益	△ 860	△ 100	1,694	2,776	1,082	63.9	3,012	236	8.5

# 《寿製菓・但馬寿》



主力商品の育成及び新商品開発の推進、代理店との連携強化により  
更なる成長を目指す



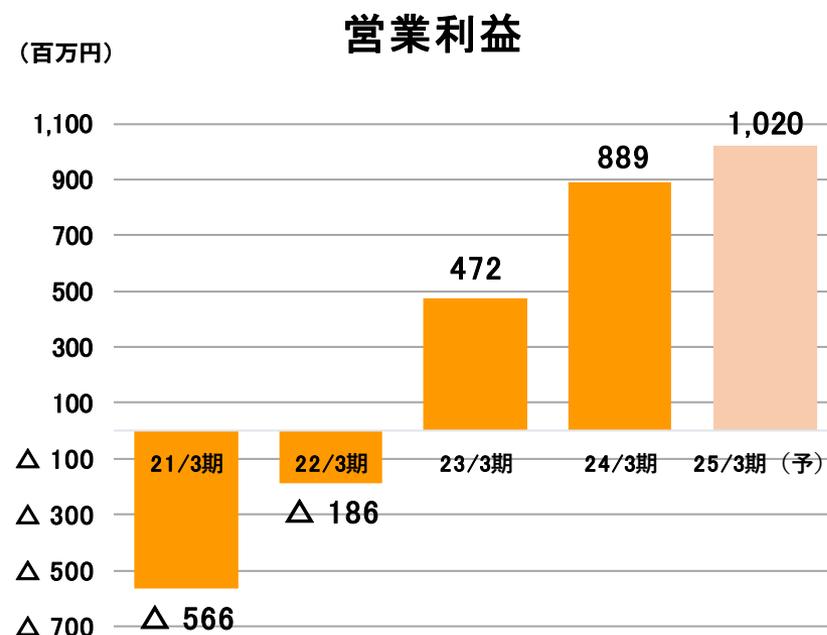
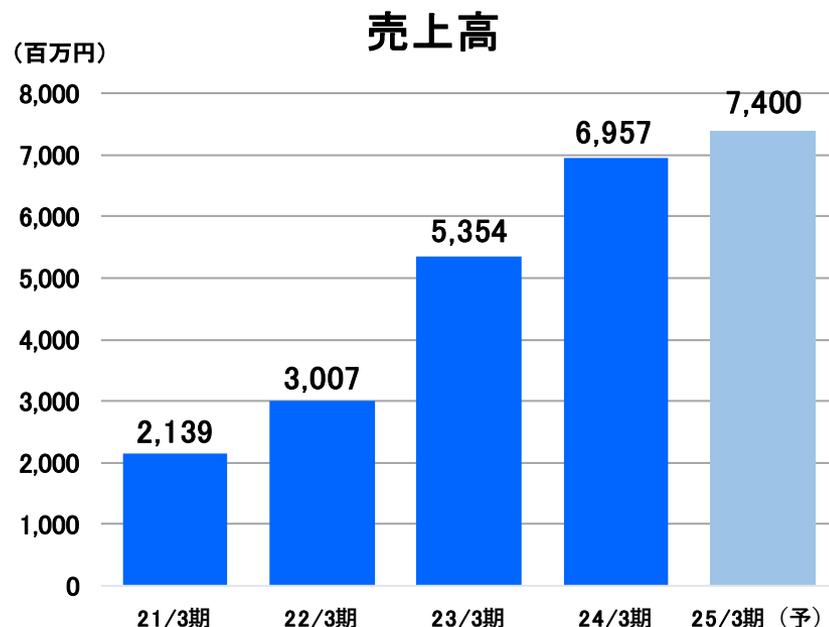
因幡の白うさぎ ありがとううさぎセット



KÄnoZA 抹茶フォンデュ

# 《販売子会社》

25/3期予想:売上高 **7,400**百万円(前期比**+6.4%**)営業利益 **1,020**百万円(前期比**+14.7%**)



(百万円,%)	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	対前期		25/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	2,139	3,007	5,354	6,957	1,603	29.9	7,400	443	6.4
売上総利益	625	1,098	2,013	2,637	624	31.0	2,860	223	8.5
粗利率	29.2	36.5	37.6	37.9	0.3	-	38.6	0.7	-
販売管理費	1,191	1,284	1,541	1,748	207	13.4	1,840	92	5.3
営業利益	△ 566	△ 186	472	889	417	88.4	1,020	131	14.7

# 《販売子会社》

主要交通拠点チャンネルを中心に新商品での新売場獲得、  
主力商品での売場面積拡大に注力



KYOTO VENETO  
MEETING FROM ITALY TO KYOTO



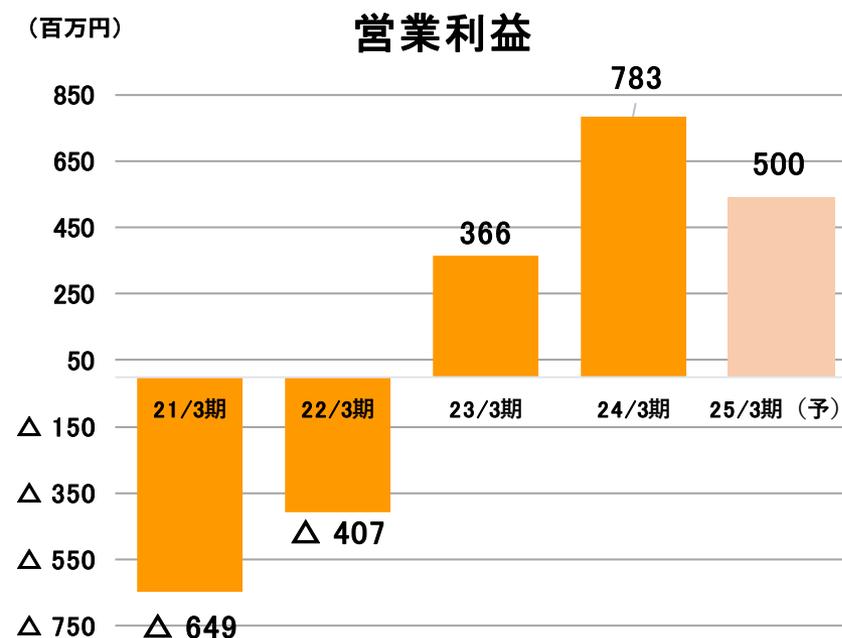
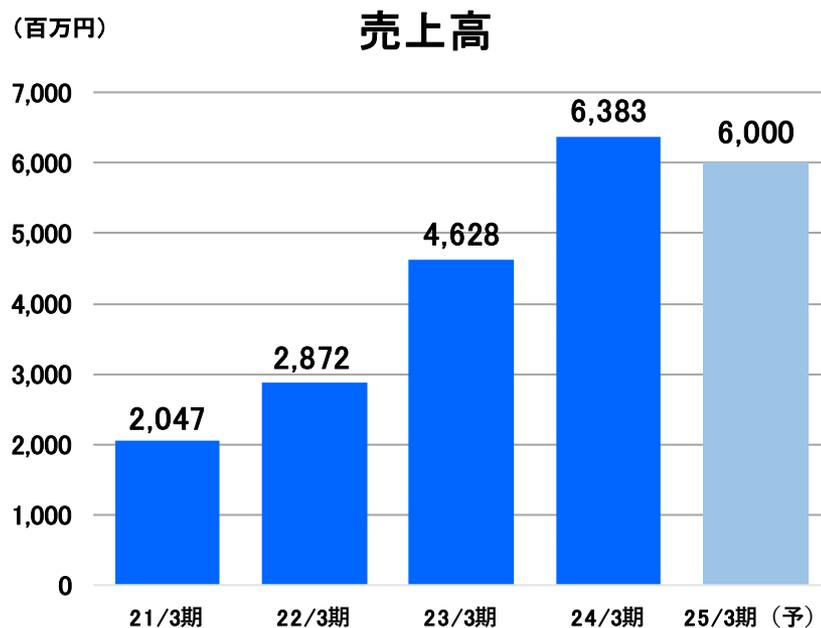
大阪いちごチーズケーキタルト



KYOTO VENETO チョベリツ茶

# くじゅうくしま 《九十九島グループ》

25/3期予想:売上高 **6,000**百万円(前期比 $\Delta 6.0\%$ )営業利益 **500**百万円(前期比 $\Delta 36.2\%$ )



(百万円,%)	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	対前期		25/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	2,047	2,872	4,628	6,383	1,755	37.9	6,000	$\Delta 383$	$\Delta 6.0$
売上総利益	650	1,241	2,427	3,387	960	39.6	3,150	$\Delta 237$	$\Delta 7.0$
粗利率	31.8	43.2	52.4	53.1	0.6	-	52.5	$\Delta 0.6$	-
販売管理費	1,300	1,648	2,061	2,604	542	26.3	2,650	46	1.8
営業利益	$\Delta 649$	$\Delta 407$	366	783	418	114.3	500	$\Delta 283$	$\Delta 36.2$

くじゅうくしま  
《九十九島グループ》



グループのシナジーを最大限に活用し、組織改革を断行、現場中心の製造小売型経営  
に変革し成長を目指す



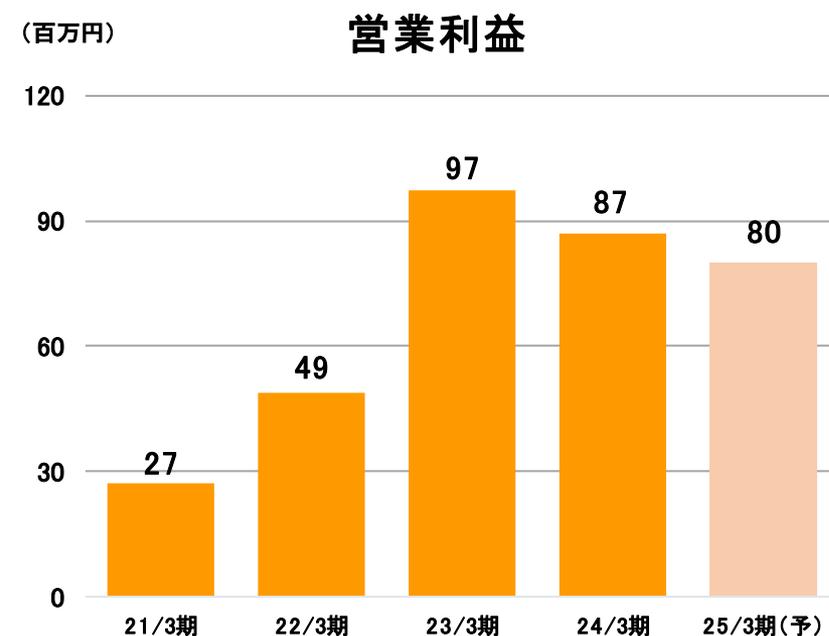
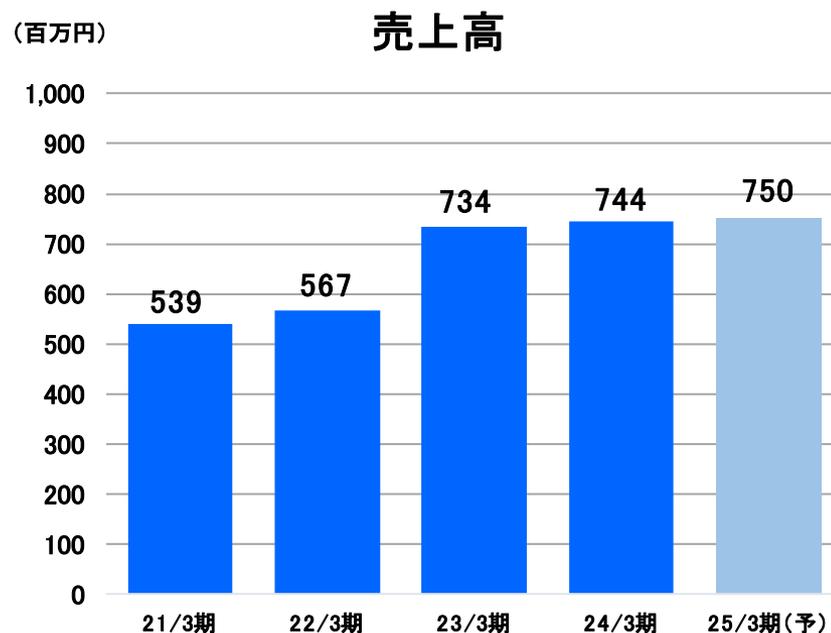
Ivorish フレンチトーストプディング



I'm LILY バターナッツケーキ アーモンド&ピスタチオ

# 《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾)菓子事業>

25/3期予想:売上高 **750**百万円(前期比**+0.9%**)営業利益 **80**百万円(同**△ 8.2%**)



(百万円,%)	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	対前期		25/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	539	567	734	744	10	1.3	750	6	0.9
売上総利益	383	411	534	537	3	0.5	540	3	0.6
粗利率	71.1	72.5	72.8	72.2	△ 0.6	-	72.0	△ 0.2	-
販売管理費	356	362	437	450	13	2.9	460	10	2.2
営業利益	27	49	97	87	△ 10	△ 10.4	80	△ 7	△ 8.2

# 《その他》

## 台湾菓子事業



東京ミルクチーズ工場 台湾限定商品



ザ・メイプルマニア 台湾限定商品

# 純藍

## 健康食品事業(純藍事業)



古来伝承素材「藍」を100%配合した健康茶『純藍茶』



# ESG関連情報

## ESG情報(サステナビリティ委員会の設置及びTCFD提言への賛同表明)

当社は、当社グループが様々な事業活動を推進していくうえで、持続可能な社会実現への貢献と中長期的な企業価値の向上が重要な経営課題であるとの認識のもと、サステナビリティにおける取組みを推進するため、2023年4月に「サステナビリティ委員会」を設置し、また、同月にはTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同を表明いたしました。当委員会の設置及びTCFD提言への賛同を機に、気候変動がもたらす事業へのリスクと機会について、分析と対応を一層強化し、関連情報の開示を推進していくとともに、2050年の脱炭素社会実現に貢献する取組みを進めてまいります。



寿スピリッツグループ  
サステナビリティサイト

### ※TCFDの概要

TCFDとは、G20の要請を受け、金融安定理事会(FSB)により、気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討する目的で設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」の略称です。TCFDが公表した提言では、企業等に対し、気候変動関連リスク及び機会に関する「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の把握・開示が推奨されています。



こちらのQRコードでご覧いただけます

# ESG情報(ケイシイシイ第1工場 FSSC22000認証取得)

ケイシイシイ第1工場が、2023年9月1日に当社グループの製造拠点として、ケイシイシイ第2工場、シュクレイ横浜工場・浜松工場につづいて、4拠点目となるFSSC22000認証を取得しました。お客様に喜ばれる安心安全な商品を提供するため、品質向上活動を継続してまいります。



ケイシイシイ第1工場外観

※FSSC 22000は、ISO 22000を追加要求事項で補強した食品安全マネジメントシステムに関する国際規格です。GFSI(Global Food Safety Initiative)によって、ベンチマーク規格の一つとして承認されています。

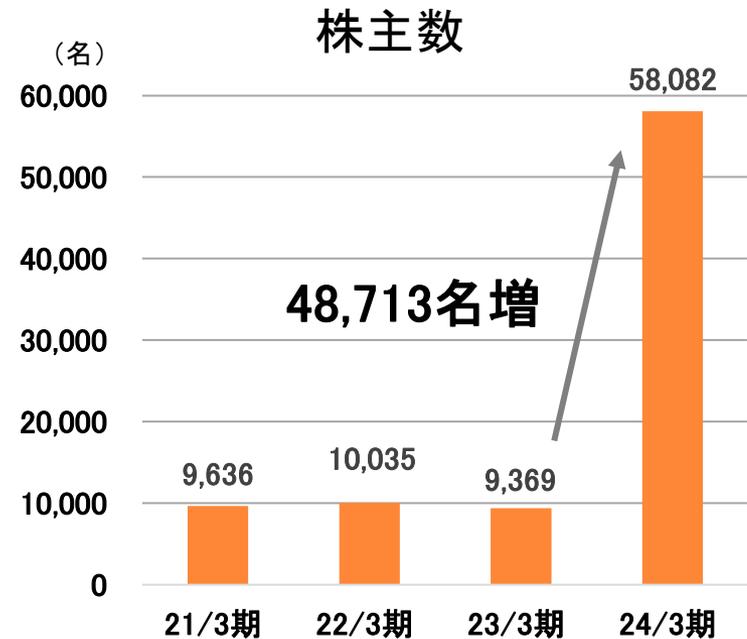


# 株式の状況・株主還元

# 株式の状況

(2024年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 456,000,000株 (注)
- 発行済株式総数 155,607,600株 (注)
- 単元株式数 100株
- 株主数 58,082名 (前期末比 48,713名増)



(注) 当社は2023年10月1日付で、普通株式1株を5株に株式分割いたしました。これにより発行可能株式総数は、364,800,000株増加  
発行済株式の総数は、124,486,080株増加しております。

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	45,500,000	29.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,909,400	8.94
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	7,226,201	4.64
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,662,300	3.64
株式会社山陰合同銀行	4,500,000	2.89

(注) 出資比率は、自己株式12,070株を除く

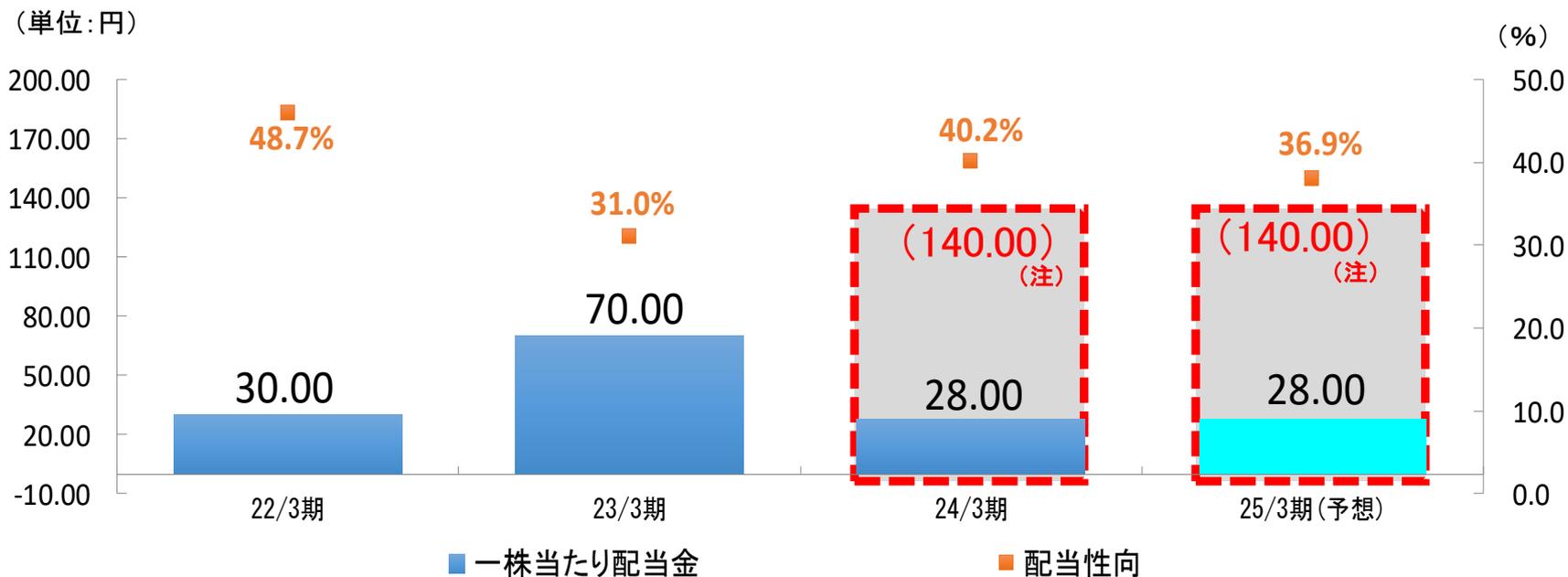
# 株主還元

## ■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

## ■ 2025年3月期1株当たり配当金予想 28円

### 一株当たり配当金・配当性向推移

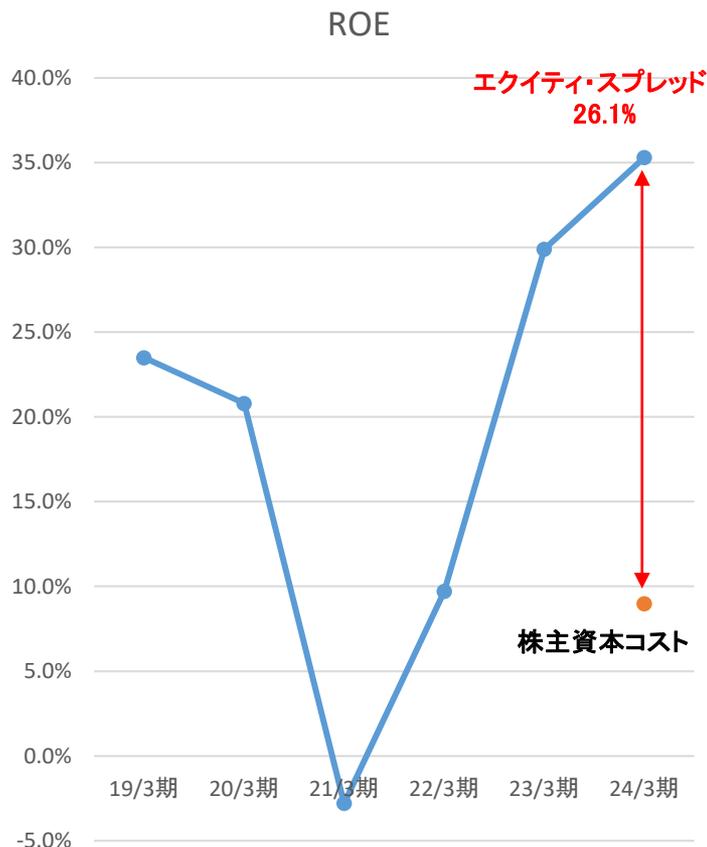


(注) 当社は2023年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の株式分割を実施しております。分割前に換算すると24/3期および25/3期の一株当たり配当金は140円となります。

# 資本コストや株価を意識した経営への対応

## ■資本収益性の分析

株主資本コストをCAPM(資本資産価格モデル)で算出し、概ね9%程度と認識しております。ROEは、23/3期は29.9%、24/3月期35.1%となり、株主資本コストを大きく超えて推移いたしております。そのような状況から、改善策や目標値は現在設定いたしてはおりませんが、今後も資本収益性の向上に努め、株主資本コストを上回る高い付加価値を創出し、企業価値の向上に努めてまいります。



	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期
ROE	23.5%	20.8%	-2.8%	9.7%	29.9%	35.1%
ROE分解						
売上高純利益率	9.7%	9.1%	-2.5%	6.0%	14.0%	16.9%
総資産回転率(回)	1.69	1.71	0.90	1.23	1.56	1.53
財務レバレッジ(倍)	1.43	1.34	1.28	1.32	1.37	1.35

	【収益性】	×	【資産効率性】	×	【財務レバレッジ】
ROE	= $\frac{\text{純利益}}{\text{売上高}}$		$\frac{\text{売上高}}{\text{総資産}}$		$\frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$

### 株主資本コスト(%) 24/3期

リスクフリーレート	ベータ(β)感応度	リスクプレミアム	株主資本コスト
安全資産・無利息金利 ※10年国債利回りを ベースに設定	×	当社固有のリスク	×
		株式投資に期待する超 過収益率※過去の株式 市場リターンから設定	=
			<b>8.98%</b> CAPMより算出

# 資本コストや株価を意識した経営への対応

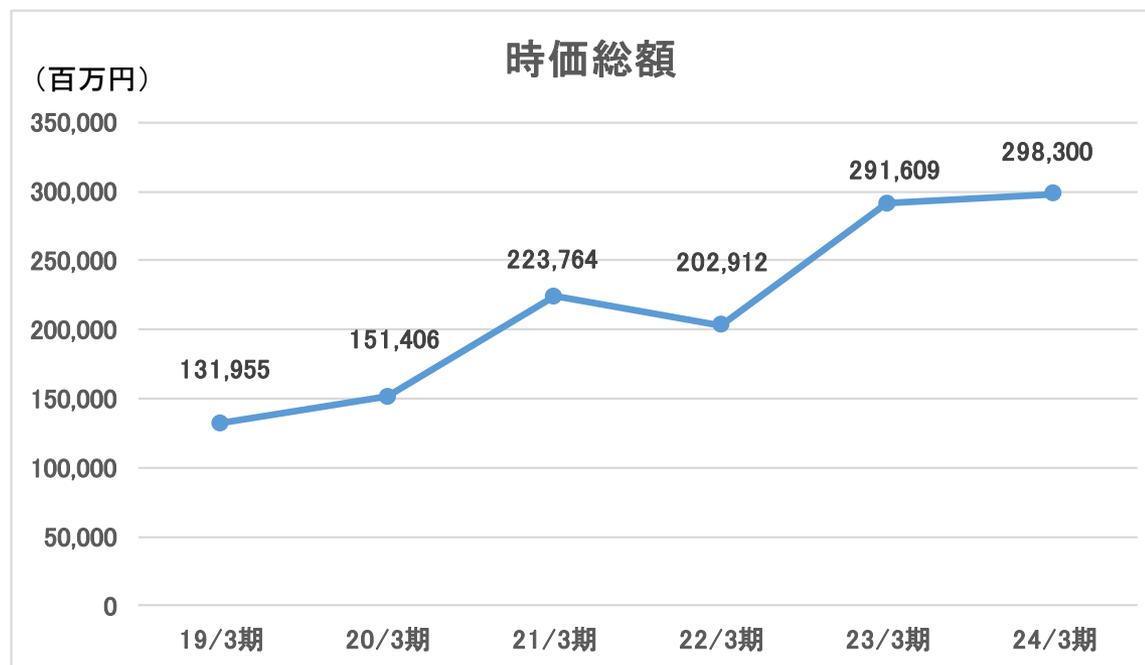
## ■市場評価(PER、PBR)

24/3期末のPBR(株価純資産倍率)は8.45倍と1倍を大きく超えております。

	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期
PER	33.32	36.92	-	105.91	41.55	27.32
PBR	7.21	7.15	11.57	9.97	11.00	8.45

(注)21/3期のPERは、当期純損失のため非表示

## ■市場評価(時価総額)





# 《参考情報》

# 会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証プライム)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体8名・連結1,636名
グループ会社	連結子会社17社(国内16社・海外1社)
連結売上高	640億円(2024年3月期)

# 沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

## 沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に **株式会社つきじちとせ**を設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に**株式会社ケイセイシイ**が『**小樽洋菓子舗ルタオ**』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、**株式会社九十九島グループ**スタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に**株式会社シュクレイ**を設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に**純藍株式会社**を設立。
- 2016年1月 (平成28年) **株式会社フランセ**の全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) **株式会社シュクレイ**が**株式会社フランセ**を吸収合併。
- 2022年4月 (令和4年) 東京証券取引所の市場区分見直しにより、プライム市場へ移行。



小樽洋菓子舗ルタオ



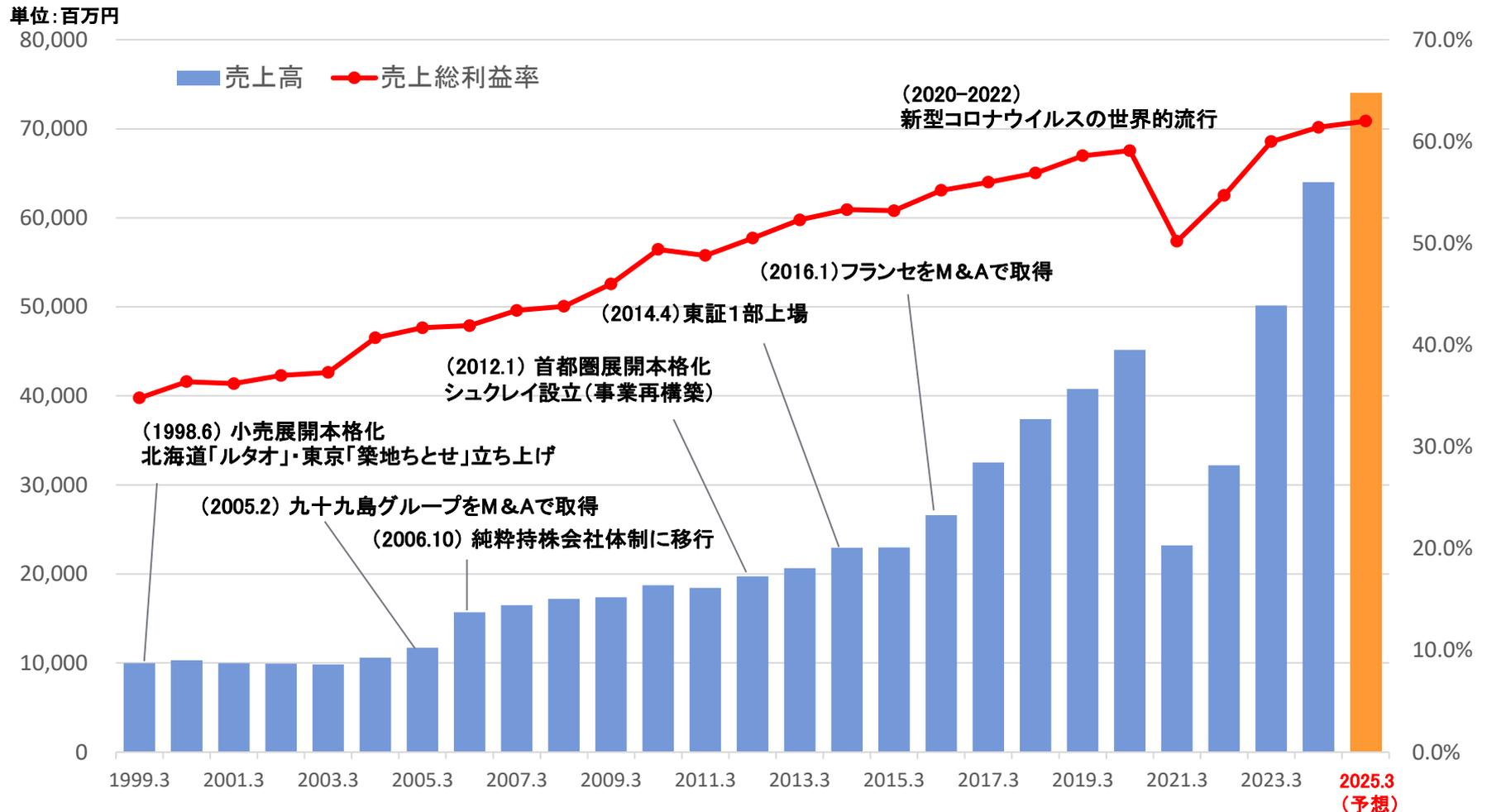
“九十九島せんぺい”



洋菓子のフランセ

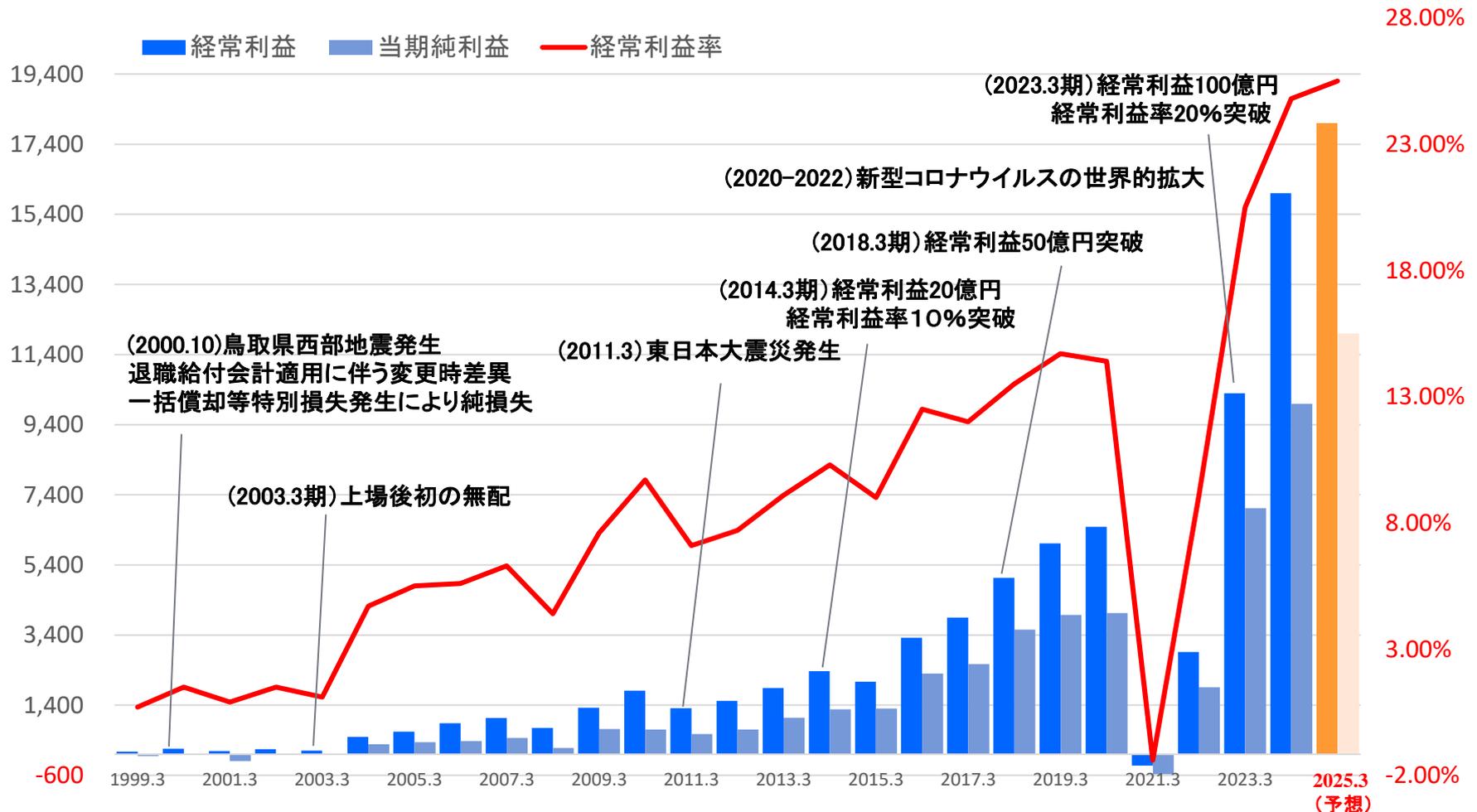
# 寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売型経営への変革により、高粗利率経営を実現



# 寿スピリッツグループの変遷②

2024年3月期 経常利益率は24.8%となり、高い収益性を実現



# 主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

**KÄNOZA**  
IZUMO

(山陰)



(北海道)



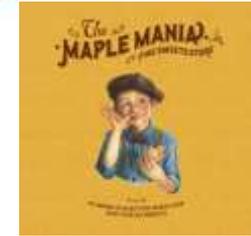
(佐世保・福岡)



(神戸)



(京都)



(東京)



(東京)



(東京)



FRANCAIS  
(東京)

# 主力商品一例



Nostalgic Modern  
**LeTAO**  
\*Nostalgic Sweets Master\*

「ドゥーブルフロマージュ」 寿製菓株式会社 「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



「九十九島せんぺい」

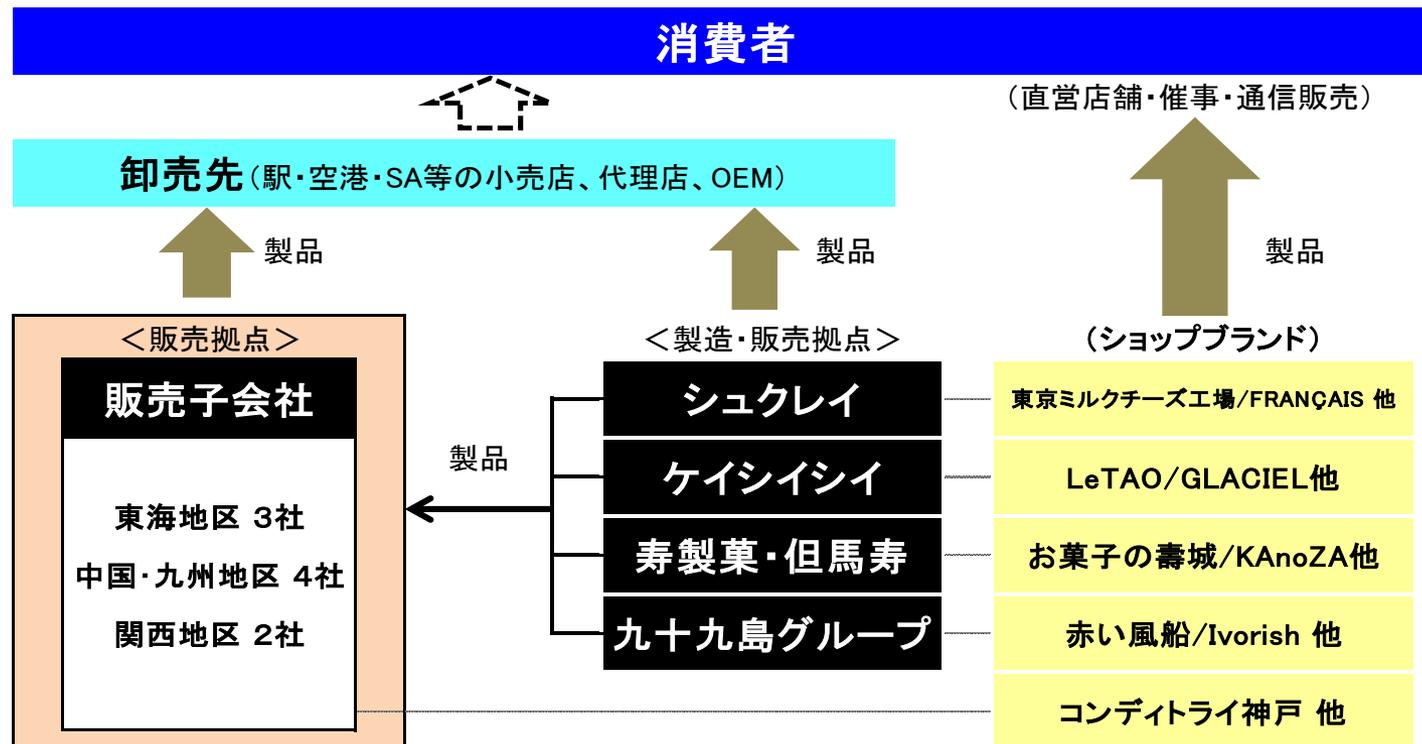


# 事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社17社で構成。  
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。

# グループ生産体制 (シュクレイ静岡工場 2024年8月頃より順次稼働)



本社工場



浦津工場



淀江工場(お菓子の壽城)



第1工場



第2工場



但馬工場



寿製菓

本社工場  
浦津工場  
淀江工場  
但馬工場

※全工場でISO22000取得



ケイセイシー

第1工場 FSSC22000認証取得

第2工場 FSSC22000認証取得

(AIBフードセーフティー監査システム導入)



福浦工場



浜松工場



福岡工場



本社工場



黒髪工場



卸団地工場



シュクレイ

横浜工場  
浜松工場 ※全工場でFSSC22000認証取得  
静岡工場(準備中)



静岡工場

※2024年8月頃より順次稼働



九十九島グループ

福岡工場 本社工場 黒髪工場 ※JICQA仕様-HACCPシステム認証取得  
卸団地工場(2023年12月稼働開始)



## 熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語です。

# 《寿スピリッツ》

## ●「こづち発表全国大会」「総決起大会」開催

2024年1月23日、鳥取県米子市コンベンションセンターにて、寿スピリッツグループ「こづち発表全国大会」「総決起大会」を開催。グループが一致団結して来期の目標突破を誓い合いました。





# 《寿スピリッツ》

## ●グループ各社の入社式

2024年4月、当社グループに192名の新たな即戦力社員が加わりました。





寿製菓株式会社  
KOTOBUKI SPIRITS GROUP

# 《寿製菓》

- 第50回がいな祭り 寿女万灯隊 おんな万灯の部 準優勝。 個人戦では最優秀賞を受賞  
2023年8月19日・20日、米子の夏を象徴する“がいな祭り”の目玉である万灯パレードに出場  
万灯女子の魅せる迫力の演技は、社内外の熱狂的ファン創りにつながりました。



# 《寿製菓》



## ● 寿製菓大感謝祭～おかげ様で因幡の白うさぎ55周年・お菓子の壽城30周年～

2023年10月14日、お菓子の壽城にて「寿製菓大感謝祭」を開催しました。

地元のお客様に向けた様々な催し物を用意し、多くのお客様にご来城いただきました。





# 《寿製菓》

## ●石川県能登半島地震の被災地にお菓子を配達・提供

2024年1月、石川県志賀町に支援物資として、お菓子をお届けしました。甘いものは大変人気で園児からご年配までたくさんのお喜びの声を頂きました。被災地の復興と被災された皆様が一日でも早く平穏な生活に戻れますことを心よりお祈り申し上げます。



# 《但馬寿》



## ●但馬寿の地域貢献活動

「遊月亭」「おばあかふえ」を運営する但馬寿は、地元小学校への出前授業の実施や、各種イベントでオリジナルご当地ソングを披露するなど地域貢献活動に力を入れています。



養父市高齢者福祉大会でのオープニングアトラクション



養父市立高柳小学校の授業参観にてサプライズ講師

# 《ケイシイシイ》



## ●小樽洋菓子舗ルタオ25周年

2023年6月、25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」は、記念菓「フロマネージュ」を発売、また、25年分の感謝を込めて顧客やお取引先様を招いたイベントを開催。パトス店はリニューアルを行い50周年に向けて再出発しました。



顧客向け感謝祭の様子



お取引先様向け感謝祭の様子



感謝祭で提供したスイーツ



2023年4月1日  
ルタオ パトス店 リニューアル

# 《ケイシイシイ》



## ●ケイシイシイが「大運動会in札幌ドーム」を開催

2023年8月30日、札幌ドームで大運動会を開催。総勢約300名が一堂に集まり、4チームに分かれて7つの競技プログラムを実施。全員が一つの目標に向かうことで一致団結しました。



# 《シュクレイ》

SUCREY  
AOYAMA

## ●シュクレイが東京駅売上ランキングで上位独占！

「2023年新商品 東京駅限定手土産 スイーツ売上ランキング」が2023年11月22日に発表され1～3位をシュクレイが独占。1位は、「ザ・メープルマニア」のメープルクッキー詰め合わせ缶が受賞。



【第1位】ザ・メープルマニア  
メープルクッキー詰め合わせ缶



【第2位】THE DROS(ザ・ドロス)  
フィナンシェ(カマンベール&レモン) 5個入



【第3位】ミスターメープルbyザ・メープルマニア  
メープルラムケーキ

# 《九十九島グループ》

株式会社 九十九島グループ

## ●マイングNo.1“通”のお土産決定戦2023年 洋菓子部門にて5回連続1位を受賞

2023年9月、マイング“No.1”通のお土産決定戦2023年洋菓子部門にて、「赤い風船」の「フォンダンフロマージュ」が5年連続で1位を獲得。同様に「BUTTER&Bee」の「バターフィナンシェ」が3回目のエントリーで初の3位獲得となりました。

1位



赤い風船  
フォンダンフロマージュ  
2,160円（税込）／1個

赤い風船  
SINCE 1968

マイング No.1 通のおみやげ決定戦2023

# 結果発表

【投票数】16,287票 【投票期間】8/1☀~8/20🌕

3位



BUTTER&bee  
バターフィナンシェ  
1,188円（税込）／6個入り  
2,160円（税込）／12個入り

B/B  
BUTTER & bee